

# 立命館大学大学院

## 2025年度実施 入学試験

### 博士課程前期課程

# 文学研究科

行動文化情報学専攻/考古学・文化遺産専修

入試方式	実施月	コース	専門科目		外国語(英語)	
			ページ	備考	ページ	備考
一般入学試験	9月	研究一貫	×		×	
	2月		×		×	
	9月	高度探究	P.1~		/	
	2月		P.4~	一部窓口公開のみ (WEB非公開)		
社会人入学試験	9月	研究一貫	×		/	
	2月		×			
	9月	高度探究	/		/	
	2月					
外国人留学生入学試験 (RJ方式)	9月	研究一貫	×		/	
	2月		×			
	9月	高度探究	×		/	
	2月		P.4~	一部窓口公開のみ (WEB非公開)		
学内進学入学試験	9月	研究一貫	/		/	
	2月					
	9月	高度探究	/		/	
	2月					
APU特別受入入学試験	9月	研究一貫	/		/	
	2月					
	9月	高度探究	/		/	
	2月					

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの  
 斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院  
2025年度実施 入学試験  
博士課程後期課程  
**文学研究科**

行動文化情報学専攻/考古学・文化遺産専修

入試方式	実施月	外国語(英語)	
		ページ	備考
一般入学試験	2月	×	
外国人留学生入学試験	9月		
	2月		
学内進学入学試験	2月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの  
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2026年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2025年9月6日

博士課程前期課程 行動文化情報学専攻  
考古学・文化遺産専修

「専門科目」

全 6 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること  
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
行動文化情報学 専攻 (考古学・文化遺産 専修)	前期課程	専門科目	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input checked="" type="checkbox"/> 高度探究		

問1 次の3題の中から1題を選んで論述せよ。

- (1) 旧石器時代から縄文時代の変化について、遺物をあげながら論ぜよ。
- (2) 弥生時代から古墳時代の墓の変化について、遺跡をあげながら説明せよ。
- (3) 歴史時代の考古学研究の中から学史上重要な研究の一つを選び、その研究史上の意義とその後の研究に与えた影響について論ぜよ。

問2 次の6項目の中から3項目を選び、それぞれ3～5行程度で説明せよ。

- (1) 玦状耳飾
- (2) 鳥居龍藏
- (3) 器財埴輪
- (4) 環境考古学
- (5) 聚楽第
- (6) 若草伽藍

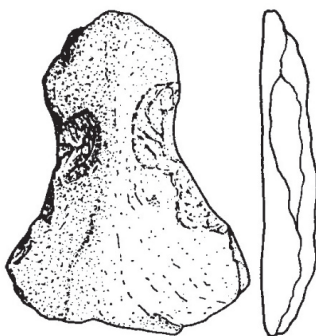
文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
行動文化情報学 専攻 ( 考古学・文化遺産 専修)	前期課程	専門科目	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input checked="" type="checkbox"/> 高度探究		

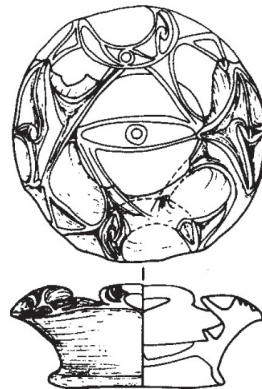
問3 次の図 A~I の中から 3 つを選び、それぞれの写真や図について 3~5 行で説明せよ。



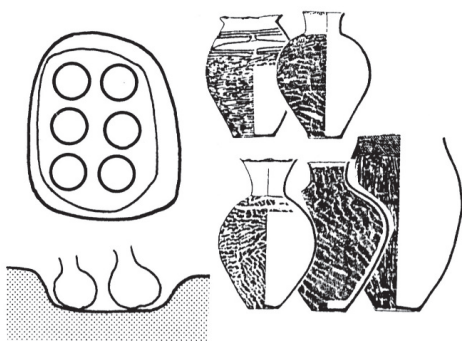
A 小林行雄『日本考古学概説』東京創元社, 1951年, pp.71



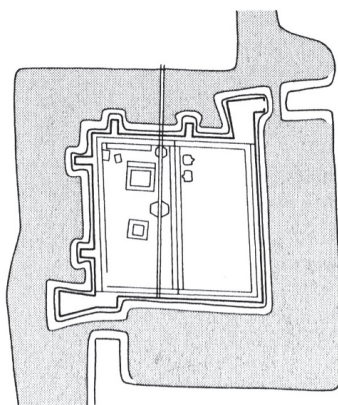
B 戸沢充則(編)『縄文時代研究事典』東京堂出版, 1994年, pp.126 (大竹幸恵執筆箇所)



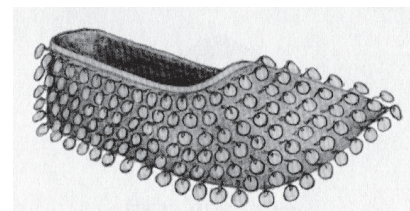
C 戸沢充則(編)『縄文時代研究事典』東京堂出版, 1994年, pp.146 (栗島義明執筆箇所)



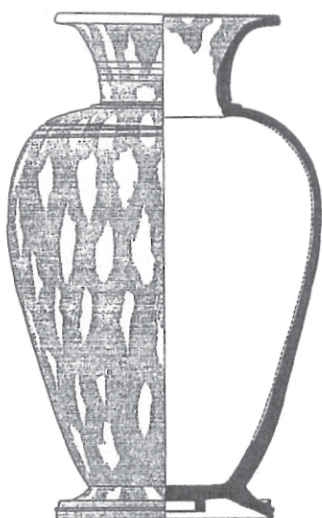
D 安藤政雄(編)『考古学キーワード』有斐閣, 1997年, pp.99 (阿部芳郎執筆箇所)



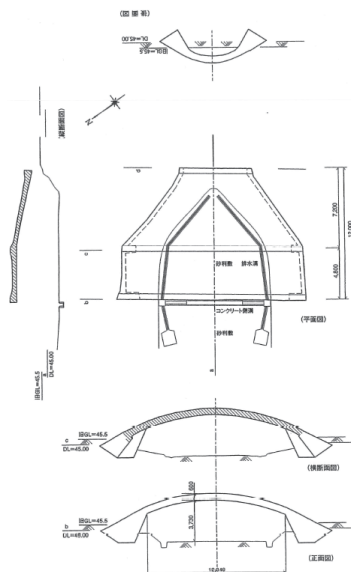
E 安藤政雄(編)『考古学キーワード』有斐閣, 1997年, pp.153 (安藤広道執筆箇所)



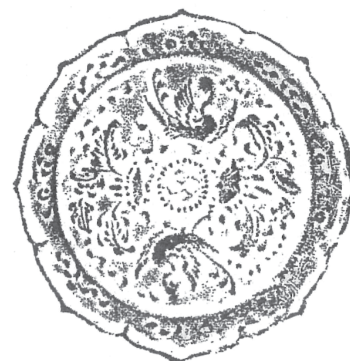
F 田中琢・佐原真(編)『日本考古学事典』三省堂, 1988年, pp.234



G 潮見浩『図解 技術の考古学』有斐閣, 1988年, pp.44



H 『白糸台掩体壕保存整備に伴う調査報告書』2008年, 府中市教育委員会



I 広瀬都巽(編)『扶桑紀年銘鏡図説』(大阪市立美術館(編)『大阪市立美術館学報』第1.大阪市,昭13)

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2026年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2026年2月8日

博士課程前期課程 行動文化情報学専攻  
考古学・文化遺産専修

「専門科目」

全 6 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること  
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



## 文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
行動文化情報学専攻 (考古学・文化遺産専修)	前期課程	専門科目	高度探究		

問1 次の3題の中から1題を選んで論述せよ。

- (1) 縄文土器の編年研究の意義について、学史をふまえつつ論ぜよ。
- (2) 弥生時代あるいは古墳時代の交流関係について、具体的な遺物や遺跡をあげながら論ぜよ。
- (3) 考古学において日本の歴史時代を対象とする学問的意義について、具体的な研究事例をあげながら論ぜよ。

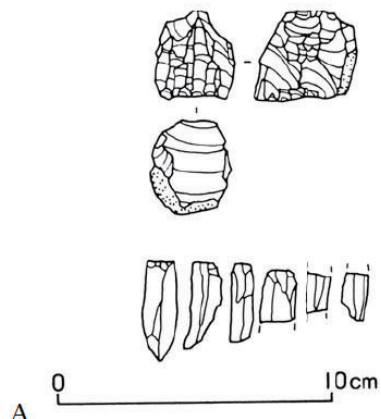
問2 次の6項目の中から3項目を選び、それぞれ3～5行程度で説明せよ。

- (1) 山内清男
- (2) 鳥浜貝塚
- (3) 森本六爾
- (4) 唐古・鍵遺跡
- (5) 山林寺院（山寺）遺跡
- (6) 広島県草戸千軒町遺跡

文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
行動文化情報学専攻 (考古学・文化遺産専修)	前期課程	専門科目	高度探究		

問3 次の図 A~I の中から 3 つを選び、それぞれ写真や図について、3~5 行で説明せよ。



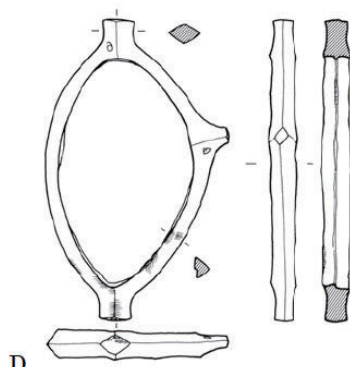
A 戸沢充則(編)『縄文時代研究事典』  
東京堂出版, 1994年, pp.78(戸沢充則執筆箇所)



B 岩滝町教育委員会『大風呂南墳墓群』  
2000年, p.27

著作権上の許諾が得られていないため非公開

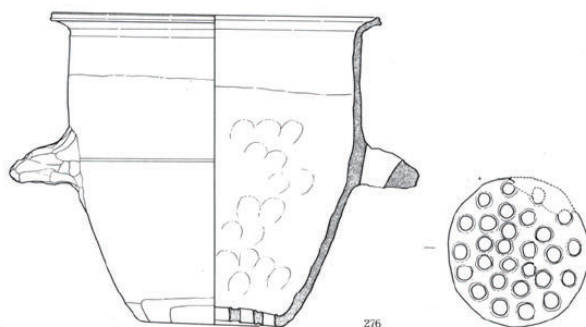
C



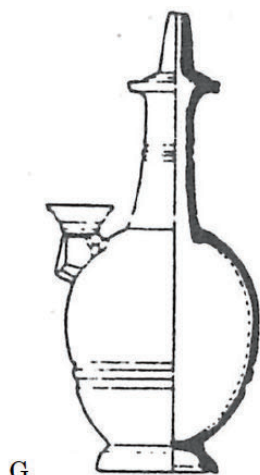
D 岩滝町教育委員会『大風呂南墳墓群』  
2000年, p.20



E 戸沢充則(編)『縄文時代研究事典』  
東京堂出版, 1994年, pp.30(大竹幸恵執筆箇所)



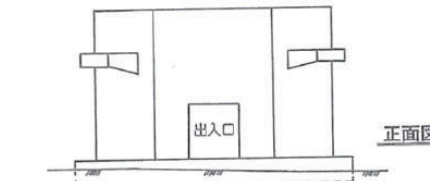
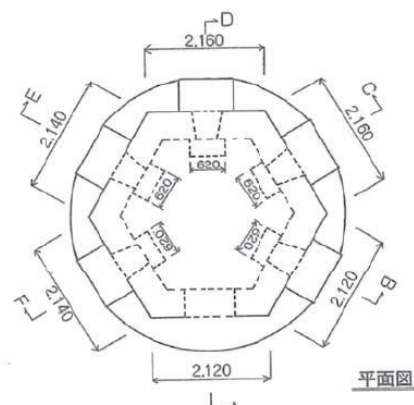
F 藤田憲司、奥和之、岡戸哲紀『陶邑・大庭寺遺跡IV』  
大阪府教育委員会・大阪府埋蔵文化財協会, 1995年, p.68



G 潮見浩『図解 技術の考古学』  
有斐閣, 1988年, pp.45



H 『季刊考古学 第110号』雄山閣, 2010年, p.85 図1



I 『季刊考古学 第116号』雄山閣, 2011年, p.78 図6